

◆赤十字病院の図書委員会をご紹介します！～役割と活動～◆

図書委員会の活動と役割

宅間 五月

抄録：図書室運営委員会を設け、各部署の方に委員になってもらい、議題についての審議・審査等により、意思決定をしていくことは、病院側・利用者側への明確な意見である。がん診療連携推進病院である当院でもがん患者様への意思決定支援を様々な形で行っているが、委員会とはそれと同様の意思決定支援の場でもあると思う。病院機能評価では図書室に委員会を設けなければいけないという規定はないが、病院であるというガバナンスを保持するためには病院機能評価に規定はなくとも、委員会で審議して公のものとするのが院内での役割であると考えている。

キーワード：図書委員会、活動、役割、図書室、意思決定

はじめに

高知赤十字病院は、2019年5月に旧病院から北に約1kmに新築移転した。許可病床数は402床、職員数は877人である（2019年8月時点）。院長曰く、「旧病院では、南海トラフ巨大地震では津波被害が想定されており災害拠点病院としての機能をはたせなくなるので、津波被害想定が少ないエリアへの移転を決断した。」とのことで少しでも想定される南海トラフ巨大地震の津波被害が小さいと仮定される現在の場所に移転となった。

図書室は、事務管理フロアのある4Fにあり広さは、40㎡ほどで旧病院の図書室の約半分ほどの広さとなった。病院全体の建築計画の制約から、旧病院の図書室の広さを確保できなかった。

TAKUMA Satsuki

高知赤十字病院 医療情報管理課 図書室
TEL：088-822-1201 FAX：088-820-5516
tosho@kochi-med.jrc.or.jp

I. 図書室運営委員会

1. 目的

図書室の円滑な運営及び内容の充実について審議するため。

2. 所管事項

- 職員の医療知識向上における図書室の効果的な運用、活用方法について
- 医療図書の計画的な選定について
- 病院が発行する医学雑誌の編集及び効果的活用方法について
- 所有する医療図書の管理・保管方法について
- 院長の指示する事項について
- その他必要な事項について

3. 開催回数等

2回/年、その他随時と規定にはあり、開催月などの指定はない。

II. 人員構成と活動内容

1. 人員構成

医師4名（内1名 委員長）、薬剤師1名、OT1名、看護師長1名、教育推進係長（事務）1名、事務局の医療情報管理課長1名と図書室担当者1名の計10名

2. 活動内容

図書室は、病院機能評価でのいつでも誰もが利用しやすいよう24時間利用できるように施設はないが、管理部門のフロアに入れるセキュリティカード（職員カード）がないと入室はできない。委員会機能図では「教育」部門に位置付けされている（図1）。

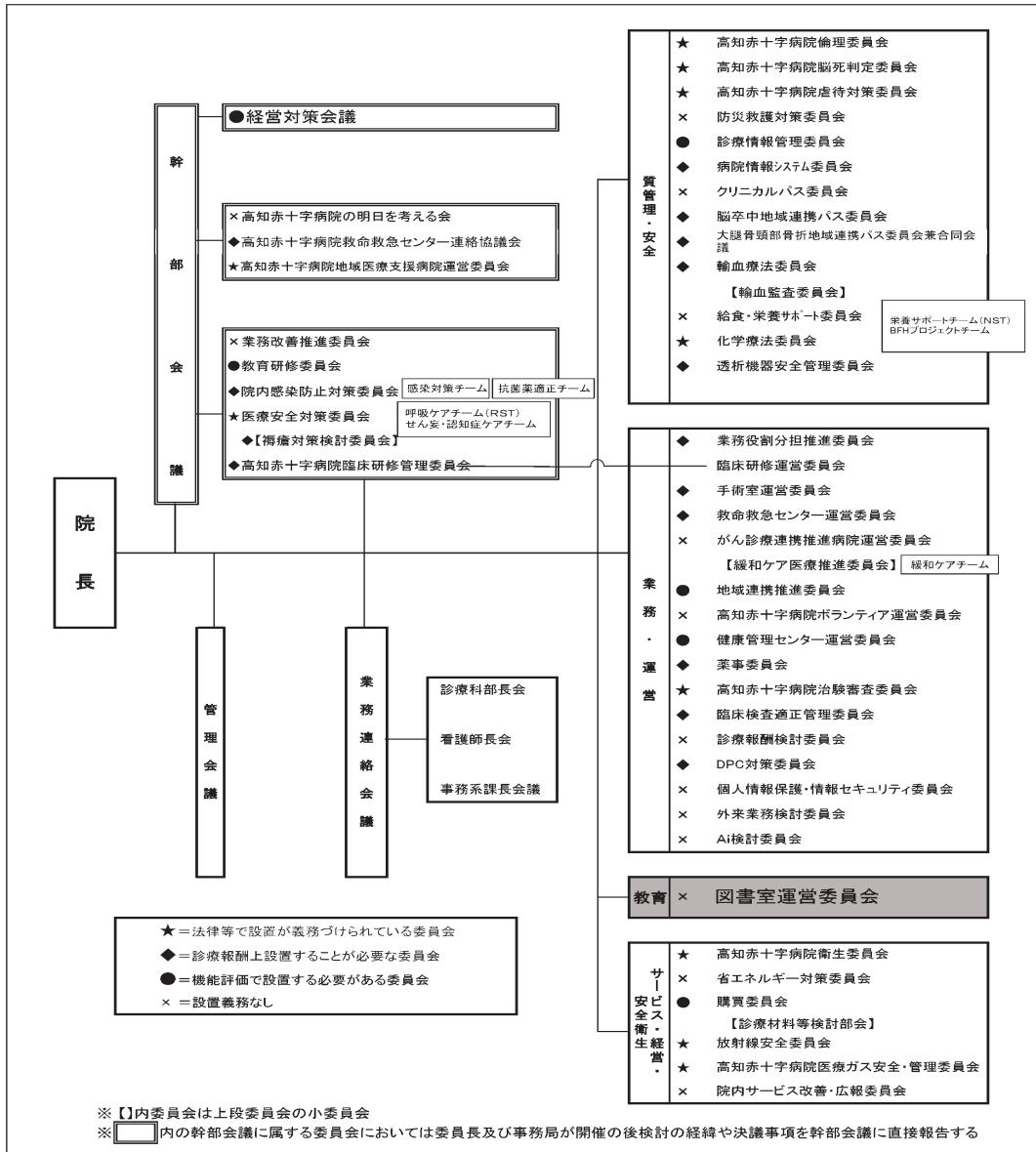


図1 令和元年度 委員会等機能図

主に議題にあがるのは、「高知赤十病院医学雑誌」（以下「医学雑誌」という。）の発行についてである。最近では、医学雑誌の巻末に広告を載せるなど経費削減も努力してきた（2017年～2018年分）。あと、論文を制作するためには文献が必要となる。以前は、文献取寄せ料金は、私費区分であったが、平成26年4月（2015）から一職員100件/年まで公費でまかなえるようになり、論文制作に欠かせない文献が気兼ねなく入手できるようになった。

また、医学雑誌への論文投稿は任意での提出でしかなかったので、毎年論文を書いてくれるドクターを探すのに苦労していたが、部署を一年毎に論文作成該当科になるような仕組みづくりにしたことにより、論文作成ドクター探しに院内を右往左往することもなくなった。

医学雑誌以外の議題では、新病院の図書室問題がある。「はじめに」でもふれたが旧病院の半分ほどの面積しかなくなったため、雑

誌・書籍をどうするかの問題は大きかった。

期よく高知市に大きな公共図書館が開館したので、そちらに相談すると「医療系の雑誌・書籍を集めている」とおっしゃっていただいて、処分するしかないと思っていたが一部寄贈することができた。あとは、雑誌の電子化で対応した。電子化すれば所蔵誌にスペースをとられることはなくなる。和雑誌は、メディカルオンラインと医書.jp。それに収載されていないものは冊子体で対応している。

広報活動としては、2017年度に高知赤十字病院院内誌「はーとクロス（発行：6回/年）」全ての回に図書室にある貴重誌の紹介をした。これは CiNii Books など調べた所蔵館の少ない書籍等（赤十字関連のもの例：日本赤十字魂 CiNii 所蔵館 1 資料 1, 資料 2）を紹介した。

Ⅲ. 目標

医学雑誌では、査読に関してもう少し時間と人員をかけていくつもりである。医学雑誌

図書室にある貴重誌の紹介

図書室担当 宅間

「日本赤十字魂 —上海派遣特別救護班の記—」



今回の紹介は、
「日本赤十字魂 —上海派遣特別救護班の記— かげやま きんか 陰山 栄」です。
昭和十二年に起こった上海事変に救護班を出动させ、その中で日赤としての使命感を持ち敵味方なしの救護を行ったことが記されています。また、当時蔓延していたコレラなどの疫病の影響や、戦場での活動の悲惨さについても描かれています。
現在は北朝鮮への緊張が高まる中、戦争・紛争が起きた場合の赤十字の使命を痛感させられる1冊です。

書誌情報

- ・タイトル言語コード: 日本語
- ・本文言語コード: 日本語
- ・出版地: 東京
- ・ページ数/冊数: 192p
- ・大きさ: 19cm
- ・発行年: 1971年


CiNii Books所蔵館 1館のみ

資料 1

図書室から青重誌の紹介

「人道一日赤のてびき」

こんな書籍も有ります。
図書室担当 宅間



「人道」とは、赤十字基本7原則の根幹をなすひとつである。ピクテ著「赤十字の諸原則」には、【唯一無二の地位を占め、他のすべての原則はこれに依存する。】と書いてあります。現在は、世界中での紛争・テロにより「人道」が通じない社会がおこりつつあるようです。赤十字の一員としてもう一度「人道」の大切さの再確認をしようではないですか！

書誌情報

- ・タイトル言語コード:日本語
- ・本文言語コード:日本語
- ・出版地:東京
- ・ページ数/冊数:275p
- ・大きさ:21cm
- ・発行年:1986.05

CiNii Booksへの登録館数 5館

資料 2

の内容に関する事なので、査読は指導医、図書室運営委員、図書室運営委員会からの査読依頼ドクター、少なくとも3名以上の査読者を設けて、内容を吟味できる体制をつくりたいと思っている。論文は、Vol.18 (2013) から日赤リポジトリにもアップしているが、上位にランクインする論文もいくつかあるようになり、レファレンスに「高知赤十字病院医学雑誌」と載るのも現実のものとなっている。

また、恒久的な問題としては洋雑誌の値上がり(特に電子ジャーナル)がある。電子ジャーナルは長く続けて購入すると値段が上がるといことがあるので、どの雑誌をどのくらい購入するか取捨選択が大事になる。各部署の意見をよく聞いて、図書室運営委員会で判断することが課題である。

IV. 図書室運営委員会の役割

図書室運営委員会を設け、各部署の方に委員になってもらい、議題についての審議・審査等により、意思決定をしていくことは、病院側・利用者側への明確な意見である。がん診療連携推進病院である当院でもがん患者様への意思決定支援を様々な形で行っているが、委員会とはそれと同様の意思決定支援の場でもあると思う。病院機能評価では図書室に委員会を設けなければいけないという規定はないが、病院であるというガバナンスを保持するためには病院機能評価に規定はなくとも、委員会で審議して公のものとするのが院内での役割であると考えている。